



50th ANJO
TANABATA
Festival



七夕まつりがいつまでも 「夢」まつりでありますように…

『50回 夢よぶ安城 星まつり』

これが、今年の七夕まつりのキャッチフレーズでした。いつの時代も、七夕まつりは来場者に夢を与えてくれました。色とりどりの七夕飾りは夢の世界にいきなり、心躍るイベントは楽しいときを演出してくれました。しかし、夢を見られるのは、来場者だけではありません。飾りを作る。イベントを企画運営する。ステージに立つ。様々な形で参加している人々にも大きな夢を与えてくれるのです。

今年の七夕まつりは、あなたにどんな夢を見せてくれましたか。もしかしたら来年、夢を追いかけて頑張っているのは、あなたかもしれません。



昨年に続き、iyiyim(イーム)のコンサートを企画したのも売番会の皆さん。ボーカルのViViさんは安城出身

せっかくの日本三大七夕。
みんなで盛り上げたいですね。

若手商店主に
聞く

売番会 (若手商店主グループ) 会長
山本 努さん (御幸本町/38歳)

少しでもまつりを盛り上げようと、本通り商店街の一角で、休憩所兼イベントスペースを企画しました。最近、商店街にも空き店舗が増え、飾りが寂しくなったという声も聞きますので、50回の今年は飾り付けにも力を入れました。皆それぞれ仕事があり、時間をやりくりしながら活動していますが、大変な反面、経営者としての資質向上に役立つ機会であると思っています。昔ほどまつりが収益につながらないのは確かですが、店の前にたくさんの方が通っているのは事実であり、それをどう商売につなげるのかを考えると必要があると思います。とはいっても、まつりは楽しくやるのが一番。様々な形で市民参加が増えてきていますが、わたしは大賛成。市内最大のイベントに参加する楽しさ、喜びをぜひ大勢の人に感じてほしいです。

